

エキノコックスQ&A

Q1:エキノコックス症とは何ですか。

A: エキノコックス症は寄生虫のエキノコックスによって引き起こされる病気です。北海道では主にキタキツネなどの動物間で広がっています。人へも感染しますが、人へは、エキノコックス成虫に感染したキツネや犬などの動物から排泄された虫卵が人の口から入って、感染します。なお、人から人へ感染することはありません。

Q2:人への感染はどのように予防すればよいですか。

A: エキノコックスの虫卵が人の口に入らないようにすること等により予防できます。

一般的な衛生対策と同様、野山から帰ったときはよく手を洗う、衣服や靴についた泥はよく落とす、沢や川の生水はそのまま飲まない、山菜や野菜、果物等はよく洗ってから食べることなどが大切です。

また、虫卵は、乾燥や熱に弱く煮沸することにより死滅させることができます。

Q3:人がエキノコックス症にかかるとどうなるのでしょうか。

A: 人がエキノコックスに感染した場合、感染初期には自覚症状などはなく、症状が現れるようになるまでに数年から10数年かかるといわれています。主に肝臓にエキノコックス幼虫が寄生するため、肝機能障害に伴う疲れやすさ、右わきの痛み、黄疸等の症状が現れます。

自覚症状が出る頃には病気が悪化している可能性がありますので、早期診断が重要な疾患です。

Q4:どうすれば治りますか。

A: 根治するためには病巣部分を手術で切除する方法しかありませんが、切除が難しい場合では薬物治療を行います。治療薬としてはアルベンダゾール等があり、エキノコックスの成長を阻害し、増殖を抑制する効果があります。

Q5:愛知県で人のエキノコックス症の患者発生はありましたか。

A: 本県では、2008年、2017年及び2018年にそれぞれ1件の届け出がありました。2008年及び2017年の届出患者は、北海道に居住経験があるため、北海道で感染したものと推定されています。2018年の届出患者は中国出身者であり、中国で感染したものと推定されています。北海道では毎年20名程度の新規患者が報告されています。北海道以外の地域では、2010年以降（2016年を除く）は毎年数例の患者報告がありますが、届け出都道府県は必ずしも感染した都道府県ではありません。

Q 6 :エキノコックスにかかっていないか心配です。どこに相談すればいいですか。

A : 最寄りの保健所で相談を受け付けています。

知多半島地域（半田市、常滑市、東海市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町）において、生息する野犬やキツネ等野生動物に接触したことがある方、野ネズミを捕食したことがある犬の飼い主などは、人へのエキノコックスの感染のおそれがありますので、かかりつけの医療機関等に御相談ください。

また、飼っている犬について、エキノコックスの感染が心配な場合は、かかりつけの獣医師に御相談ください。

Q 7 :犬はどのようにしてエキノコックスに感染しますか。

A :エキノコックスに感染した野ネズミを食べて感染します。なお、犬から犬にエキノコックスが感染することはありません。

都市の中心部で、周辺に緑地がほとんどなく、室内でのみ飼育されている犬は感染の機会はほぼないと考えられます。

Q 8 :犬への感染はどのように予防すればよいですか。

A :犬が野ネズミを食べないように、放し飼いや散歩中に放すことのないようにしましょう。

Q 9 :犬がエキノコックスに感染するとどうなりますか。また、飼い主にわかりますか。

A : 犬がエキノコックスに感染しても通常は無症状です。したがって、犬が感染していても感染していることは分かりません。普通の固形便に加えて、粘液の塊を排便したり、まれに、下痢をすることもあります。エキノコックスの成虫が糞便とともに排泄される例もありますが、非常に小形の白色の虫体で、長さ(1-3mm)程度のため、顕微鏡で判別することになります

Q10:犬のエキノコックス症はどうすれば治りますか。

A : 駆虫薬を投与することで成虫を駆虫し、虫卵の排泄を止めることができます。

駆虫薬の投与により人への感染を予防できますが、飼育場所の虫卵が含まれる糞便などの適切な処置が必要となる場合がありますので、獣医師等に御相談ください。

Q11:愛知県で犬のエキノコックス症例はありましたか。

A : 2014年4月に本県で初となる犬のエキノコックス症の届出が1件ありました。

その後、2017年度に3件、2019年度に1件、2020年度に4件の届出がありました。

Q12:愛知県でエキノコックスが検出された犬は、その後どうなりましたか。

A : 2014年4月に届出されたものは殺処分されています。

2017年度以降に届出されたものは、既に駆虫薬の投与又は殺処分されており、当該犬からの人への感染防止対策は図られています。

Q13:愛知県ではどのような対策をしていますか。

A：引き続き、捕獲された野犬の糞便を用いエキノコックスの感染状況を調査します。

また、県民に対し予防方法など注意喚起するとともに、野ネズミを捕食した等により感染リスクのおそれがある犬の飼い主に対して、市町村及び関係機関と連携し、医療機関や動物病院への受診の勧奨、周知に努めてまいります。